

(別紙5)

整理番号 2021P-087
補助事業名 2021年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 一般財団法人中部公衆医学研究所

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

婦人科検診車を導入整備することにより、安全・安心且つ、効率的な検診の実施を図り、企業職員及び住民の受診機会を増やします。

また、実施回数の増加に伴う公害の発生を抑制します。

(2) 実施内容

婦人科検診車

[\(公益財団法人JKAオートレース補助事業の完了のお知らせ - 一般財団法人 中部公衆医学研究所 健康を大切に！環境を大切に！ \(chubukosyu.or.jp\)\)](#)



検診車正面



検診車側面



検査室



待合

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

検査精度の向上により、地域住民の公衆衛生の増進に寄与します。

環境公害及びそれに伴う健康被害の防止により、地域の環境保全及び健康維持に寄与します。

安心・安全且つ効率的な検診の実施により、受診機会を増やし、より多くの方の健康維持に寄与します。

3 印刷物等（本事業に係わる印刷物等）

弊所機関誌「中部公衆だより 29号（2022年5月発行）」

当所ホームページにも完了報告を掲載中 (<https://www.chbukosyu.or.jp>)

公益財団法人JKAオートレース補助事業の完了のお知らせ

当財団では、地域の健康診断での更なるニーズにお応えするために、子宮頸がん検診車の更新を進めて参りましたが、この度、公益財団法人JKAから「2021年度婦人科検診車の整備補助事業」の補助金交付を受け、令和4年3月に子宮頸がん検診車を更新購入致しました。

○2021年度婦人科検診車の整備補助事業

事業内容：子宮頸がん検診車の整備
補助金額：19,800,000円
実施場所：長野県飯田市高羽町6丁目2-2
完了年月日：令和4年3月30日



○導入した「婦人科」検診車の特徴

①大容量インバーター発電システム

従来の発電機による電源の確保に比べ、排気ガスの発生や騒音・振動がなく、快適な環境で検診ができます。

②検査室及び脱衣所の快適化

十分な検査スペースを確保することで、検査精度の向上、受診者の安全確保が可能となります。脱衣所を個室にすることで、受診者のプライバシー保護がより確保されます。



今回の導入により、精度の向上・プライバシー保護の推進・環境負荷の低減が進みましたので、地域住民の方々の子宮疾患の早期発見による健康保持・増進へ更に貢献致します。

一般財団法人 中部公衆医学研究所
理事長 西澤 良斉

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般財団法人中部公衆医学研究所
(チュウブコウシュウイガクケンキュウジョ)

住 所 : 〒395-0051
長野県飯田市高羽町6丁目2-2

代 表 者 : 理事長 西澤 良成 (ニシザワ ヨシナリ)

担 当 部 署 : 健康管理部 (ケンコウカンリフ)

担 当 者 名 : 次長 筒井 信博 (ツツイ ノブヒロ)

電 話 番 号 : 0265-24-1505

F A X : 0265-21-3008

E-m a i l : n.tutui@chubukosyu.or.jp

U R L : <https://www.chubukosyu.or.jp>